

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	学校施設課長 小澤 圭介		
教育-18	重点事業	小学校施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	学校施設課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	学校施設の整備	

1 事業の目的

対象	市立小学校16校
意図	小学校施設の改修等により教育環境の改善を図るため。
効果	児童の安全・安心な教育環境を整える。

2 平成29年度に実施した事業の概要

第一小学校外3校の冷暖房設備設置工事を行った。 第二小学校外5校の冷暖房設備設置工事設計委託を行った。 富士塚小学校及び小坂小学校のトイレ改修工事を行った。 関谷小学校北棟のトイレ改修工事設計委託を行った。 学校施設の老朽化状況調査委託を、平成29年度と30年度の2か年の事業として開始した。 御成小学校旧講堂の改修工事設計委託を、平成29年度と30年度の2か年の事業として開始した。 御成小学校の児童数増に対応するため、仮設校舎を賃借した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数	7,947人	7,940人	7,940人	事業の対象者数	7,892人	
運営資源状況	決算値(千円)	185,441	513,947	513,947	当初予算(千円)	156,019	
	国県支出金	8,140	57,806	57,806	国県支出金	0	
	地方債	91,900	423,800	423,800	地方債	99,900	
	その他				その他	34,240	
	一般財源	85,401	32,341	32,341	一般財源	21,879	
	人員配置数	0.4	1.7	1.7	人員配置数	1.9	
	人件費(千円)	2,988	12,832	12,832	人件費(千円)	14,553	
事業運営	総事業費(千円)	188,429	526,779	526,779	総事業費(千円)	170,572	
	市民1人当りの経費(円)	1,065	2,985	2,985	市民1人当りの経費(円)	967	
	対象者1人当りの経費(円)	23,711	66,345	66,345	対象者1人当りの経費(円)	21,613	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 普通教室冷暖房設備設置、トイレ改修の加速化(3か年で未改修トイレを全て改修)及び御成小学校旧講堂改修工事の実施に向け、予算規模を拡大する必要がある。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	教育環境の改善を図るため、外壁、受水槽等の改修を進める。 トイレの改修を加速化させ、3か年で12校20系統(小6校10系統、中6校10系統)のトイレを改修する。 小学校普通教室への冷暖房設備設置を行う。 鎌倉市立御成小学校旧講堂保存活用計画を踏まえた改修工事設計委託を行う。 学校施設の老朽化の状況を調査し、改築や大規模改修等の施設整備計画を検討する。	

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	普通教室への冷暖房設備設置に向けて、設置工事及び設計業務を計画どおり進める。 御成小学校旧講堂保存活用計画を踏まえた改修工事設計委託に着手する。 小中学校校舎の老朽化状況を把握するため、学校施設の老朽化状況調査に着手する。 老朽化の進む学校施設及び設備については、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全と延命化に努める。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	第一小外3校に冷暖房設備設置工事を行い、第二小外5校で冷暖房設備設置工事設計委託を実施した。 小坂小学校トイレ改修工事(Ⅱ期)及び富士塚小学校トイレ改修工事を行った。 御成小学校旧講堂の改修工事設計委託及び学校施設の老朽化状況調査委託を、平成29年度と30年度の2か年の事業として開始した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	学校施設の老朽化の状況を調査し、改築や大規模改修等の施設整備計画を検討する。 小学校16校の普通教室への冷暖房設備を設置する。 御成小学校旧講堂の改修工事設計委託を行う。 トイレの改修を加速化し、3か年で12校20系統(小6校10系統、中6校10系統)のトイレを改修する。 老朽化の進む学校施設及び設備について、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全・延命化に努める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	普通教室冷暖房設備設置状況 ○:全小学校設置 △:一部小学校設置 ×:全小学校未設置								
団体名	鎌倉市	横浜市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市
他市実績	△	○	○	×	△	×	×	○	×

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣市では普通教室への冷暖房設備設置が順次進められており、児童の健康で安全な学習環境を整備するため、本市も計画的に事業を進めていく。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	普通教室への冷暖房設備設置					単位	校	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	平成31年度に全16校設置完了。		
計画通り平成31年度までに小学校全16校の普通教室に冷暖房設備を設置する。	目標値	—	—	—	4.0	10.0	16.0			
	実績値	—	—	—	4.0					
	達成率	—	—	—	25.0%					
指標の内容	トイレの改修					単位	系統	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	平成32年度までに、すべての改修を完了する。平成32年度は4系統実施予定。		
6校10系統のトイレが未改修(平成29年度末時点)だが、平成32年度までに全て改修を行う。	目標値	—	—	—	2.0	3.0	8.0			
	実績値	—	—	—	2.0					
	達成率	—	—	—	16.6%					
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	普通教室への冷暖房設備設置については、計画どおり事業を進めている。 トイレの改修については、小中学校合わせて毎年2校(2系統)の工事実施を計画し、事業を加速化させたが、更に前倒しし、平成32年度までに3か年12校20系統を実施することを計画している。									